



## 中2の不安定さ指摘

### 浜松市いじめ対策連絡協 信頼関係構築探る

学校でのいじめ防止対策について関係機関が情報交換する「浜松市いじめ問題対策連絡協議会」の本年度第2回会合が19日、市役所で開かれた。昨年公表されたアンケート結果を基に、児童・生徒と大人の信頼関係を構築する方策について意見を交わした。

市内の小中学生を対象にいじめ経験の有無などを調査したアンケートの結果を事務局が報告し、学年が上がるほど大人に相談しなくなることや、中学2年で加害体験が増加し、大人との信頼関係が極端に悪化する傾向を示した。いじめを出さず、早期発見する上で、教師や保護者との信頼関係の重要性も伝えた。

委員の中学校校長は、中学2年生が「経験上、大人に成長する過程で親子関係が不安定になり、教師との関係も難しくなる時期」と指摘。親や教師との良好な関係はいじめの未然防止や学力向上にも影響するとの認識を示した上で、褒めることや認めることの大切さを強調した。

市警察部の担当者は2014年のいじめ相談件数45件のうち、学校からの通報が8件あったことを紹介し、学校との連携の必要性を訴えた。

2016年1月20日 朝刊 西部版

① 中学2年になると起きやすい問題は何でしょうか。

[ ]

② なぜ中学2年になると問題が起きやすくなるのでしょうか。

[ ]

③ 親や教師が注意すべきことは何でしょうか。

[ ]

年 組 名前

(中学校 保健・総合・特別活動、保護者・教員)